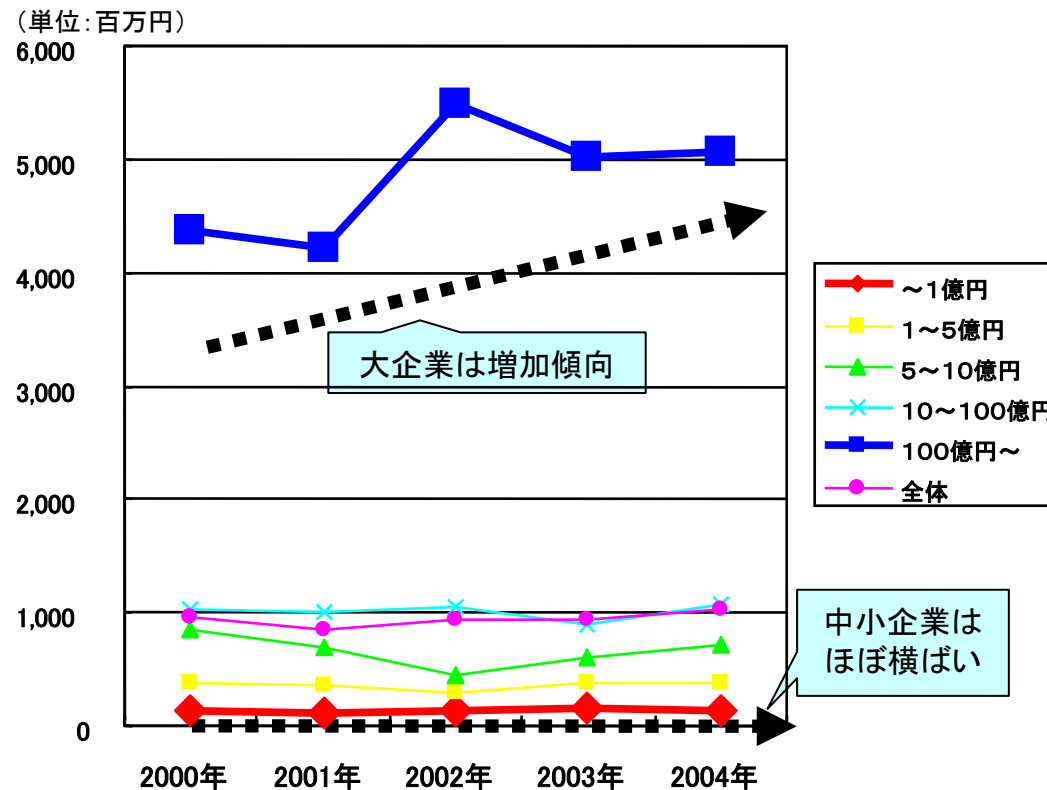


(1) 中小企業のIT化の現状

①IT投資の状況

- 日本のIT投資額は大企業では増加傾向にあるが、中小企業では横ばいで、企業規模が小さいほど投資額も低い。

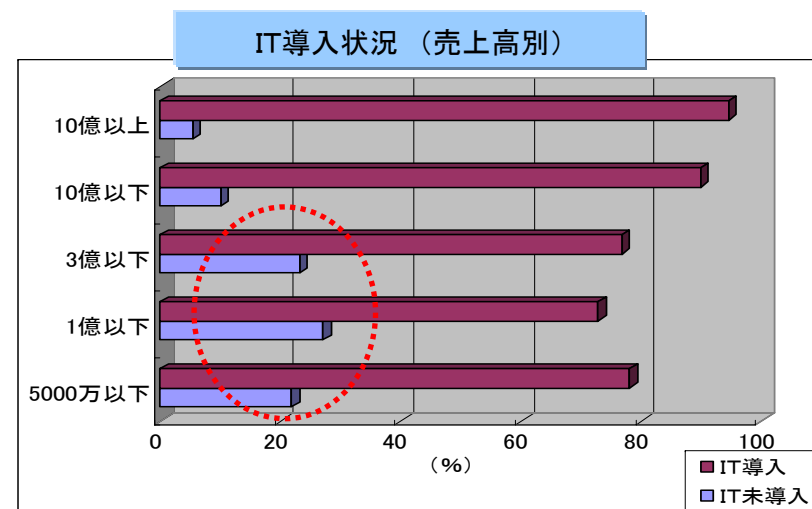
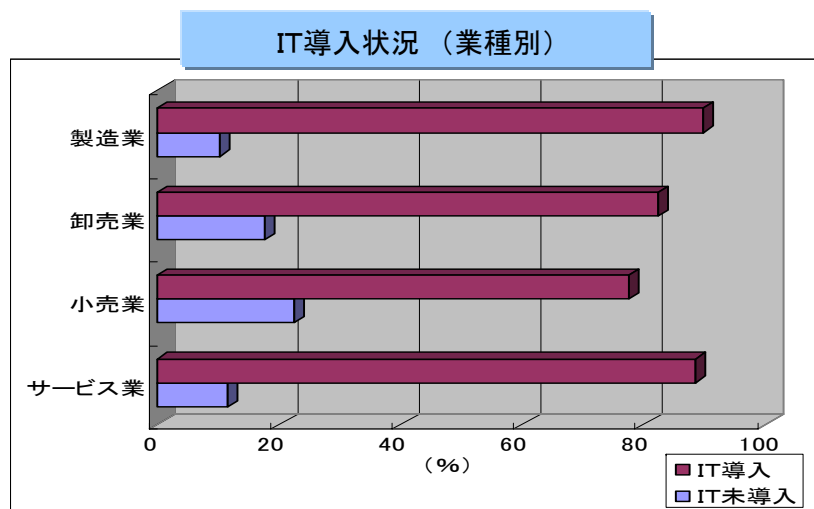
資本金規模別「1社当たりの」IT投資額の推移



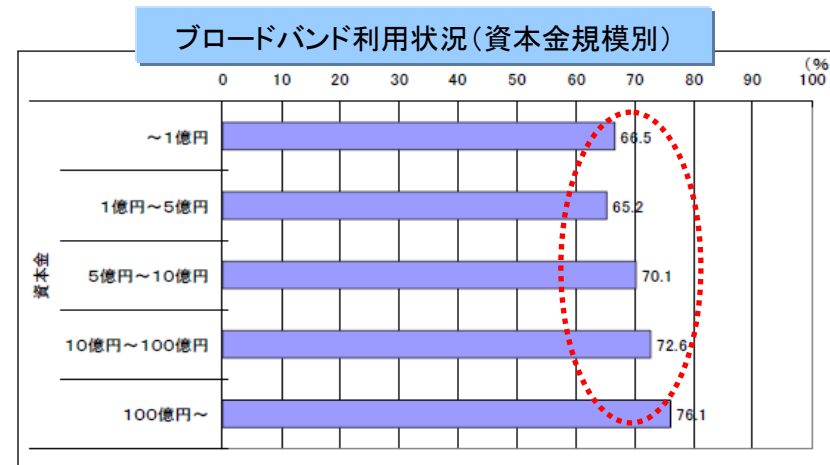
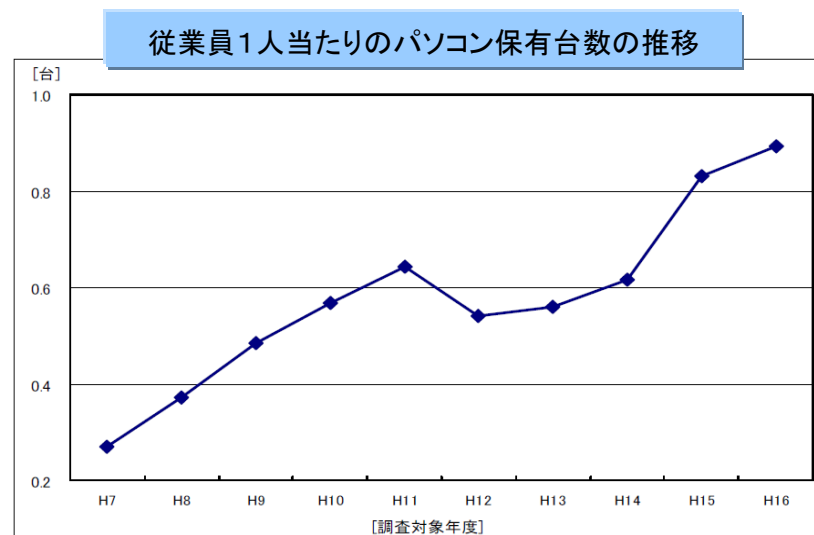
出典: 経済産業省「平成17年情報処理実態調査(平成18年9月)」

② ITの導入状況

- 8割程度の中小企業は既にITを導入しており、業種別で大差は見られないが、売上高3億円以下の中小企業ではITを導入していない割合が高くなっており、特に、小規模企業等ではITの導入が遅れている。(※次項 参考)
- 中小企業も含めた企業全体におけるパソコンの1人1台化は着実に進んでおり、インターネット環境も企業規模にかかわらず、約7割がブロードバンドを利用できる環境を構築している。



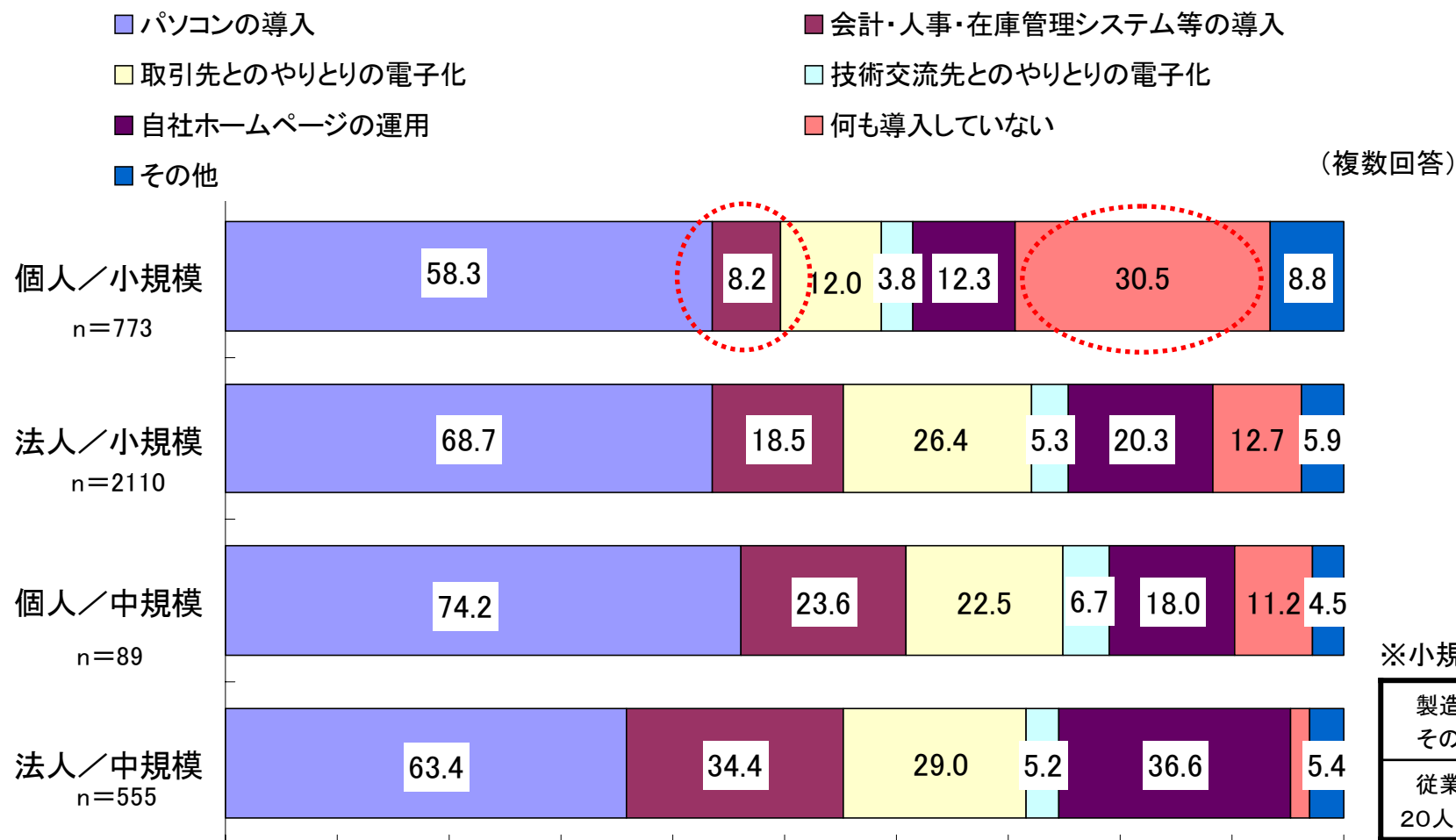
出典: 経済産業省「平成17年度中小企業IT活用実態調査(平成18年3月)」



出典: 経済産業省「平成17年情報処理実態調査(平成18年9月)」

(参考) 小規模企業等のIT導入状況

- 特に小規模個人事業所では、全くITを導入していない割合が3割を超えてる。
- また、ITを導入していても、会計システム等の導入が1割にも達しておらず、ビジネスへのITの活用は著しく遅れている。
- ただし、経営判断としてITを導入しない場合もある。

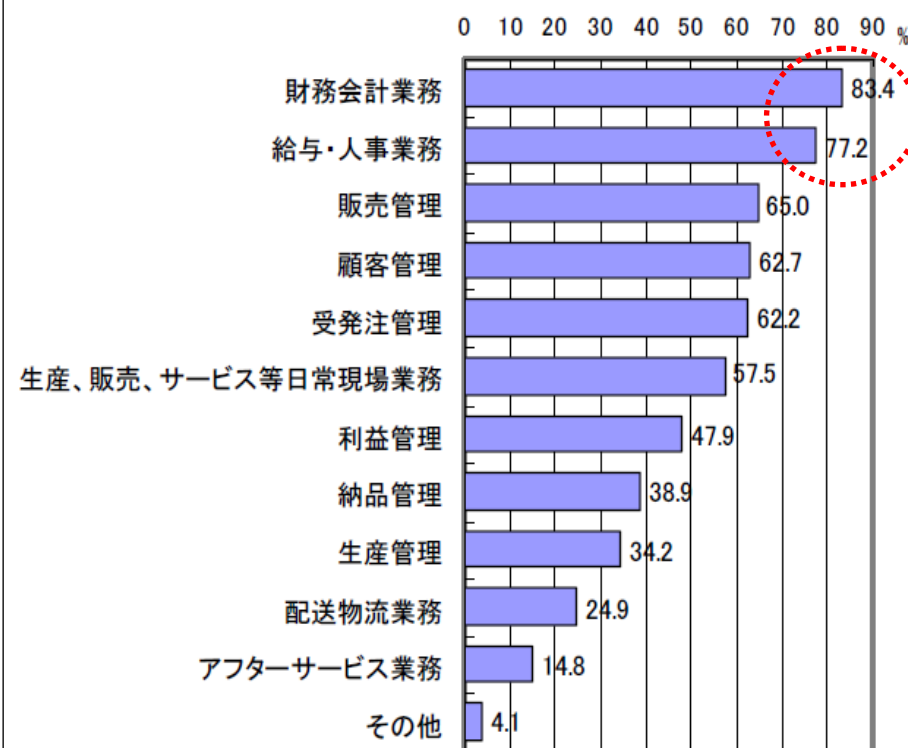


出典: 中小企業庁「小規模企業等の経営・実態調査(平成19年4月)」

③ ITの利活用方法

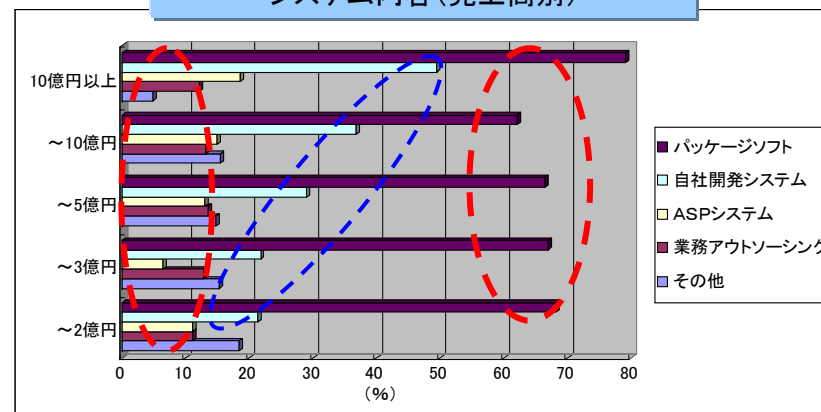
- 中小企業では、財務会計・給与・人事業務を中心にITの利活用が進められている。
- 利用されているITシステムは、企業規模にかかわらず、パッケージソフトが6割以上である。
- 自社開発のシステムは、売上規模が大きくなるにつれ、利用率が高まっている。
- ASPやアウトソーシングなど新たなサービスは、企業規模にかかわらず、1～2割の企業で利用されている。
- 9割程度の企業が電子メールを活用しており、ホームページの開設なども5割を超え、中小企業のインターネットの利用率は高い。

ITを活用している業務・管理

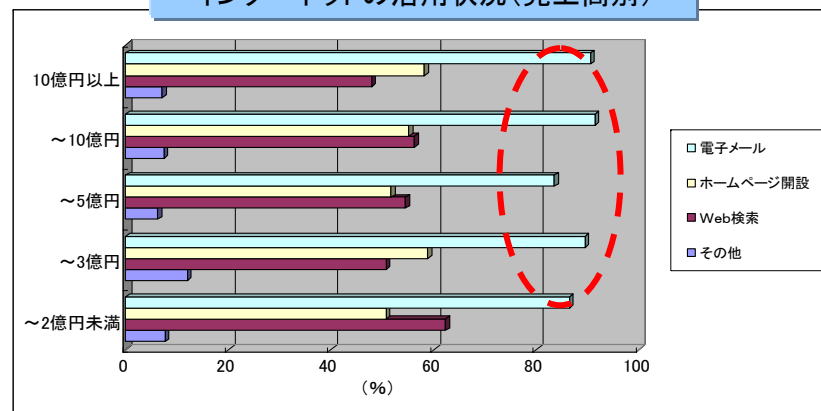


出典: 全国中小企業情報化促進センター(NIC) 平成16年度
「中小企業情報化対策調査事業」報告書(平成17年3月)

システム内容(売上高別)



インターネットの活用状況(売上高別)



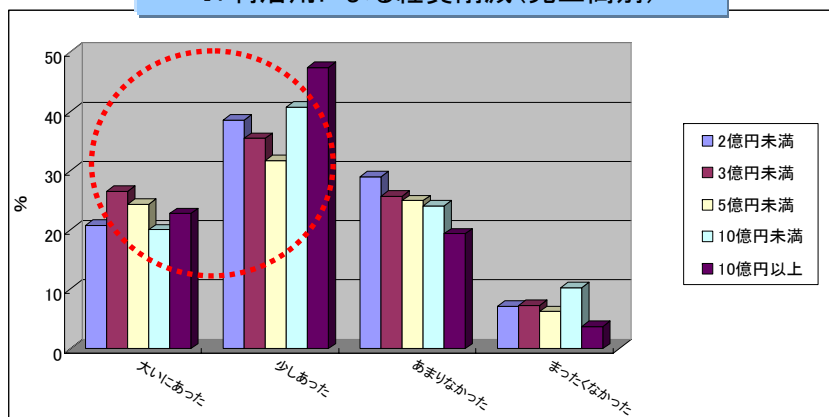
出典: 経済産業省「平成17年度中小企業IT利活用実態調査(平成18年3月)」

④ IT利活用による効果

- 経費削減による業務の効率化については、ある程度効果が見られる。
- 売上や顧客の増加については、期待するほど効果はなく、全般的に戦略的な経営にITが役立っていない。
- 意思決定の迅速化については、企業規模が大きい企業で一定の効果が見られる。

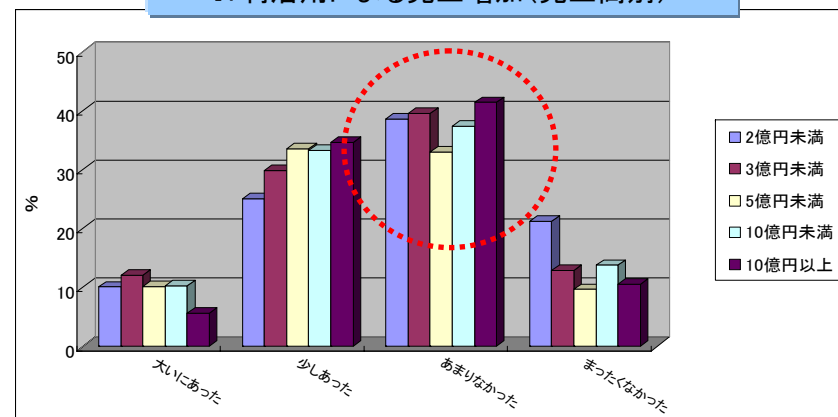
効果が出ている分野

IT利活用による経費削減(売上高別)

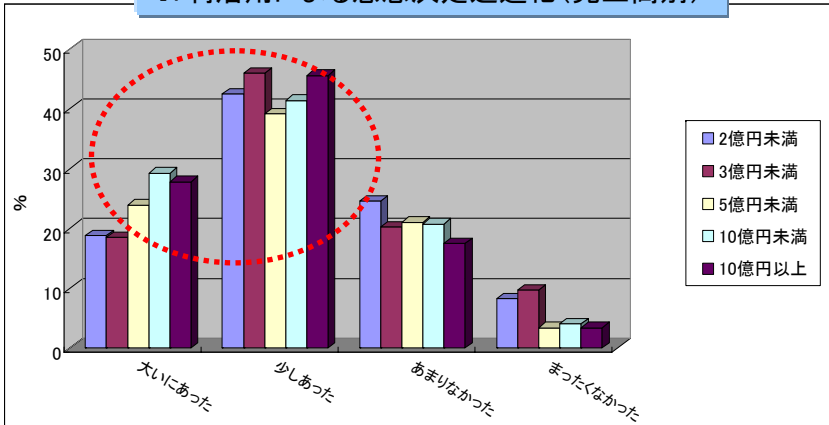


効果が出ていない分野

IT利活用による売上増加(売上高別)



IT利活用による意思決定迅速化(売上高別)



IT利活用による顧客増加(売上高別)

